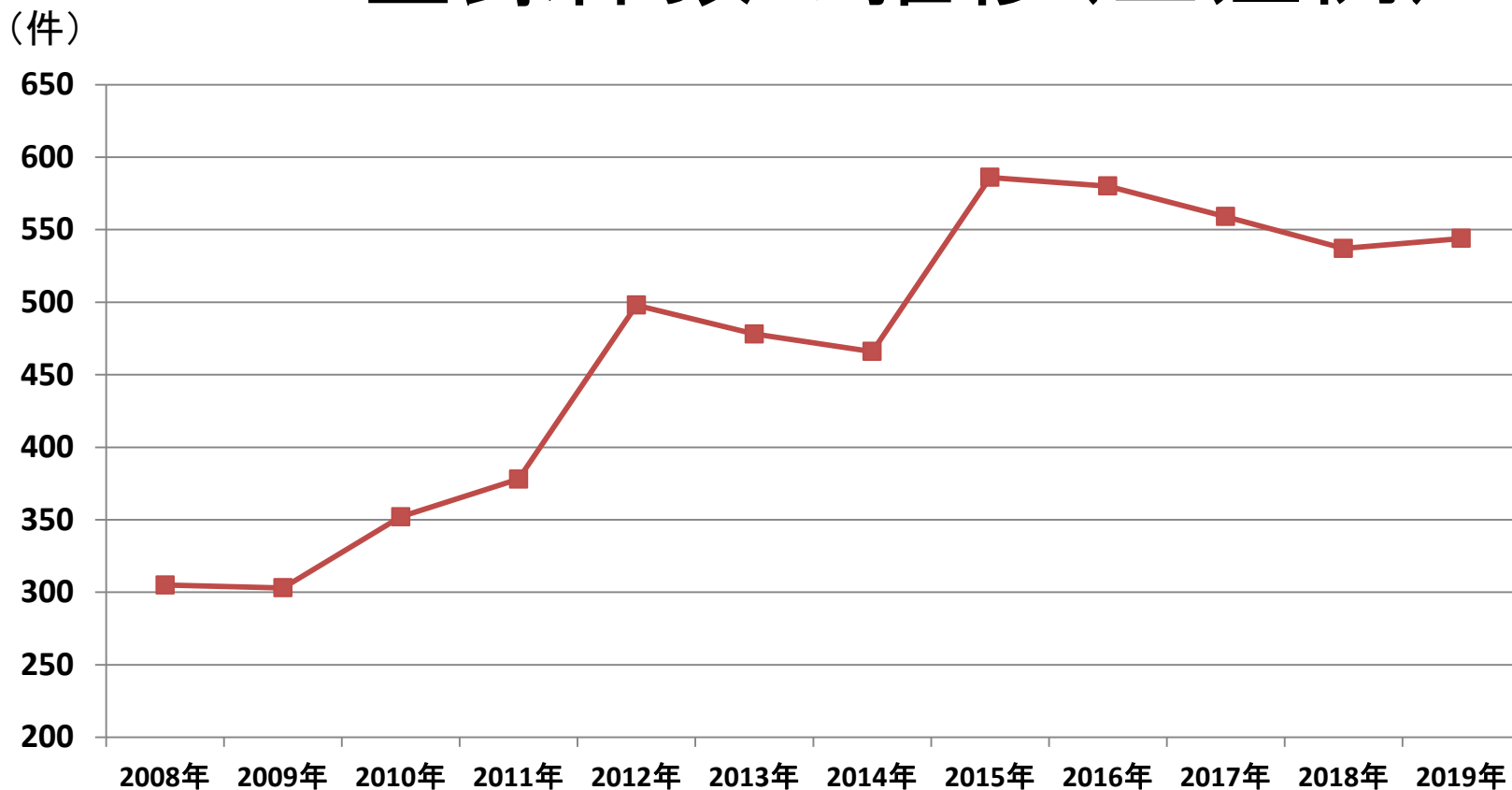
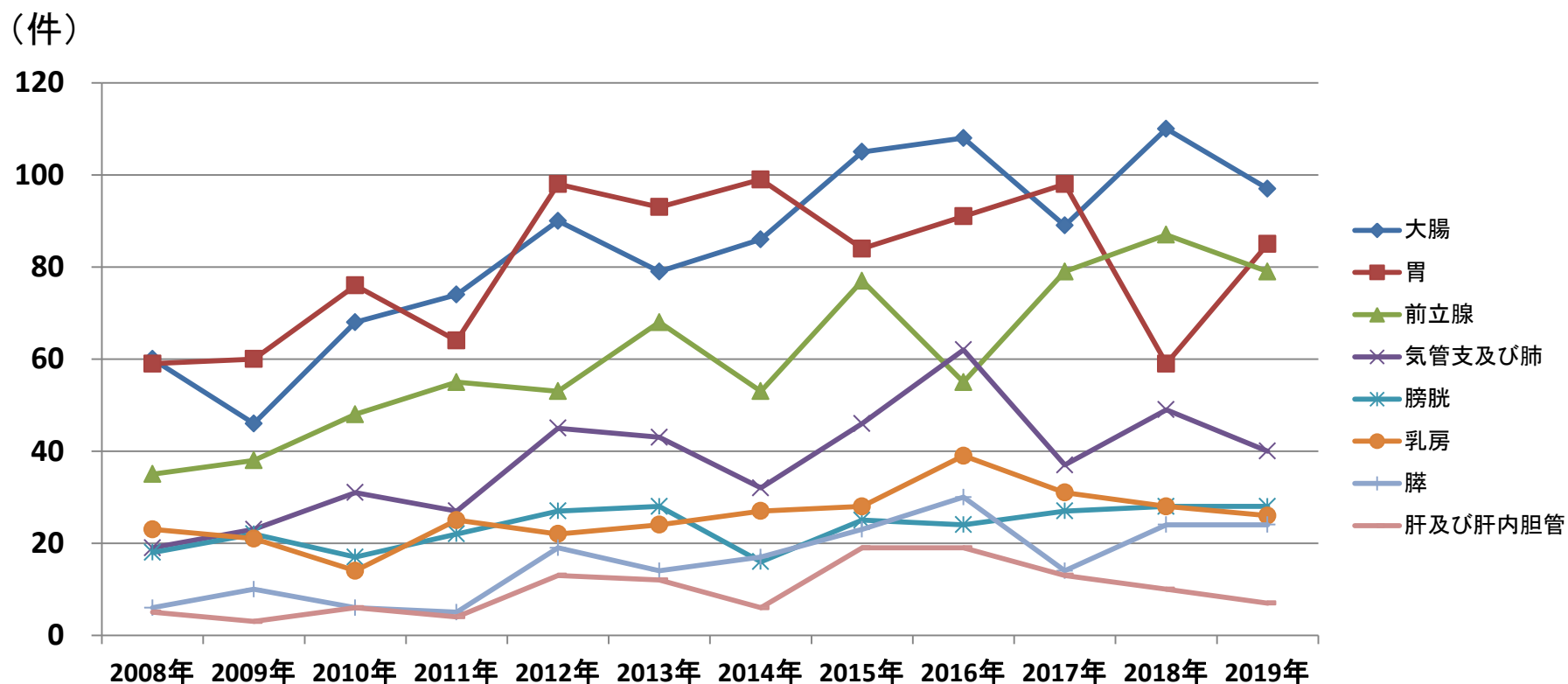


がん登録件数の推移(全症例)



2019年診断症例の登録件数は544件でした。

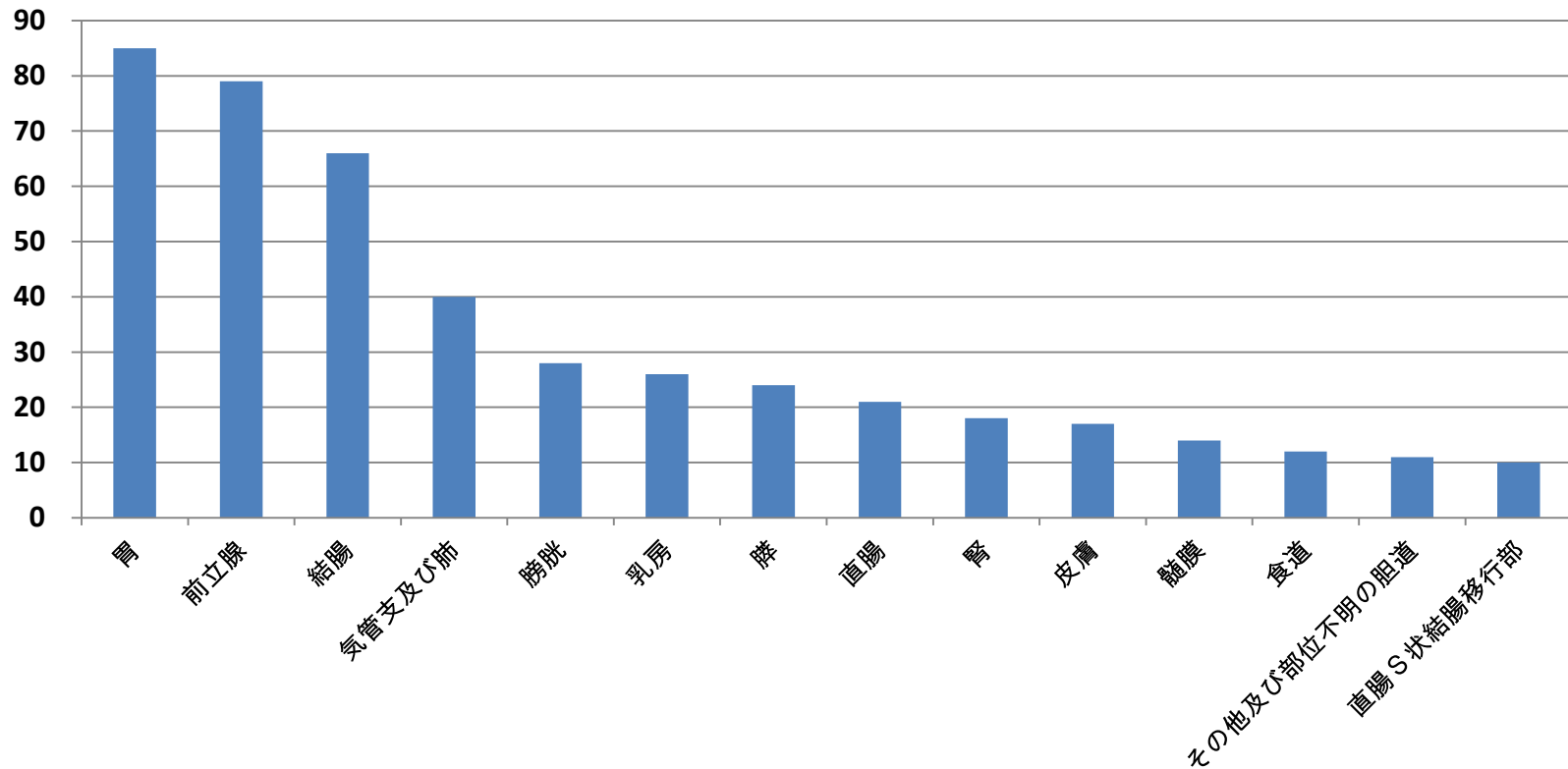
がん登録件数の推移(部位別)



近年大腸癌・前立腺癌の件数が増えてきています。
昨年と比較し、胃癌の件数も増加しました。

2019年診断症例部位別件数 (年間10症例以上)

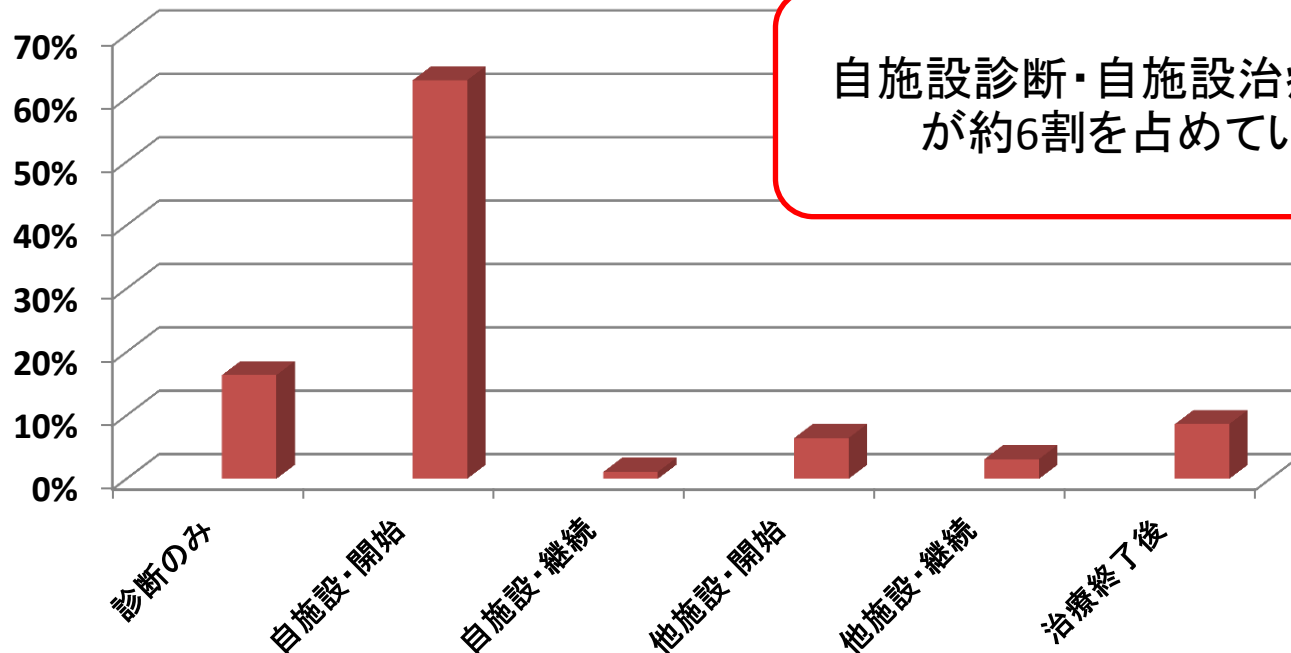
(件)



胃・前立腺の順ですが、結腸・直腸・直腸S状結腸移行部を合計すると大腸が最も多い症例数となります。

2019年診断症例 症例区分別割合

(%)



自施設診断・自施設治療開始症例
が約6割を占めています。

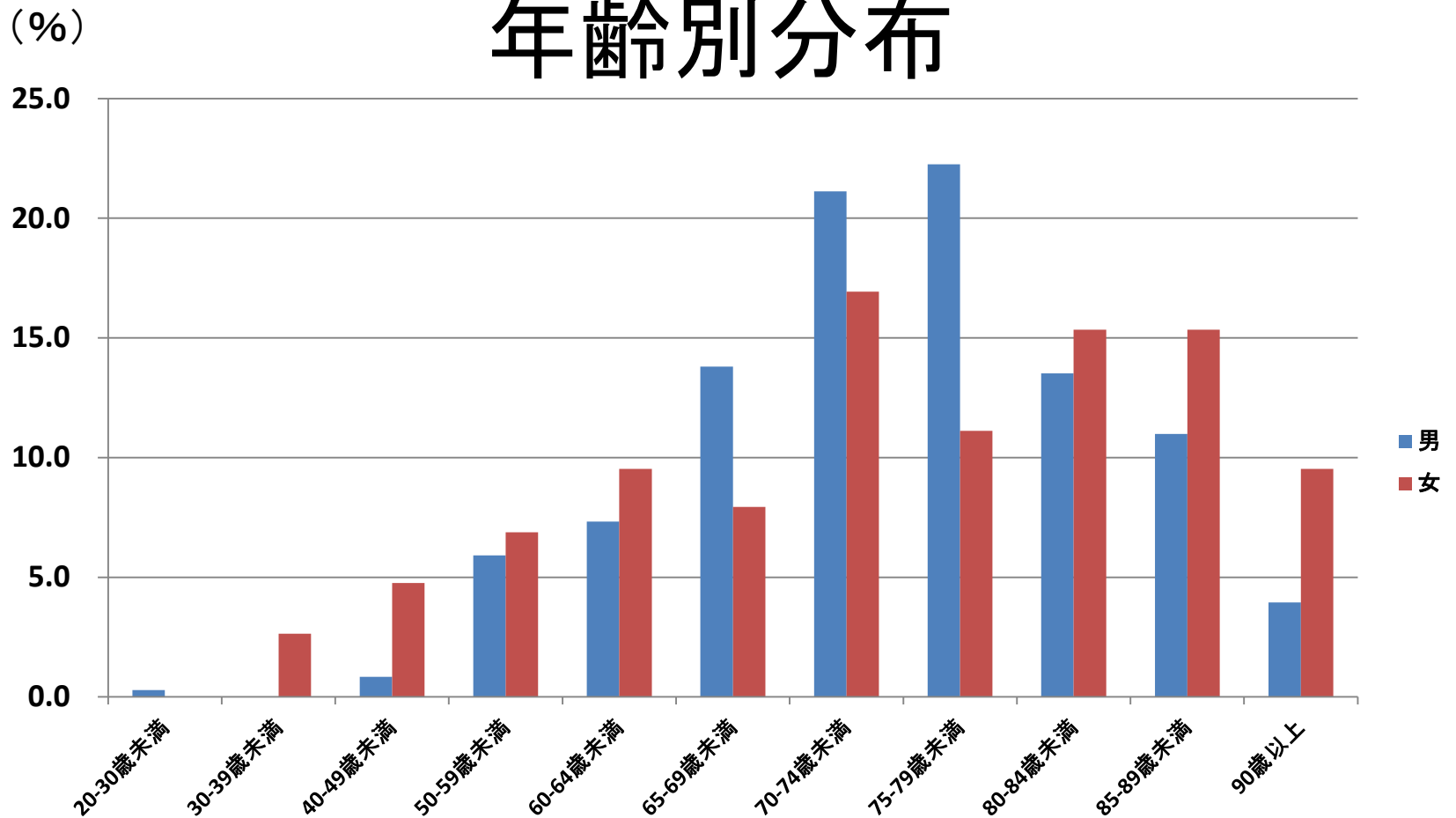
自施設・開始：自施設診断・自施設治療開始

自施設・継続：自施設診断・自施設初回治療継続

他施設・開始：他施設診断・自施設初回治療開始

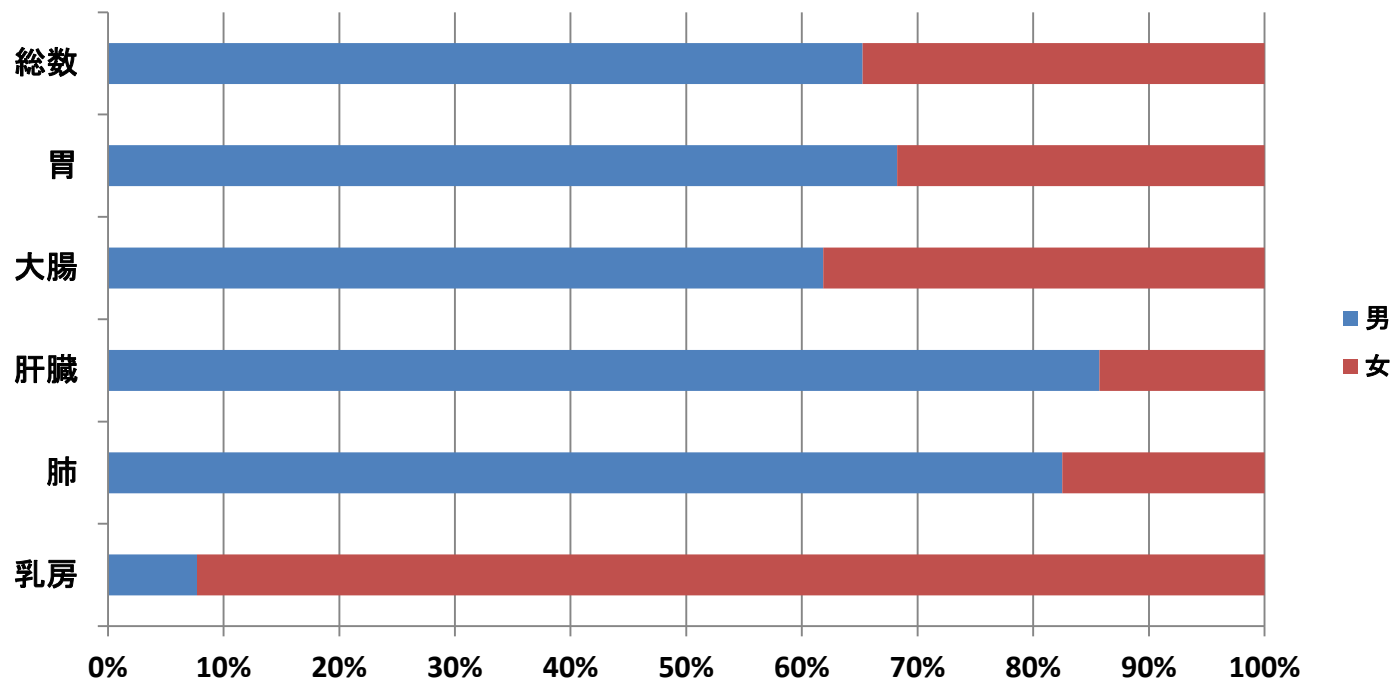
他施設・継続：他施設診断・自施設初回治療継続

2019年診断症例 年齢別分布



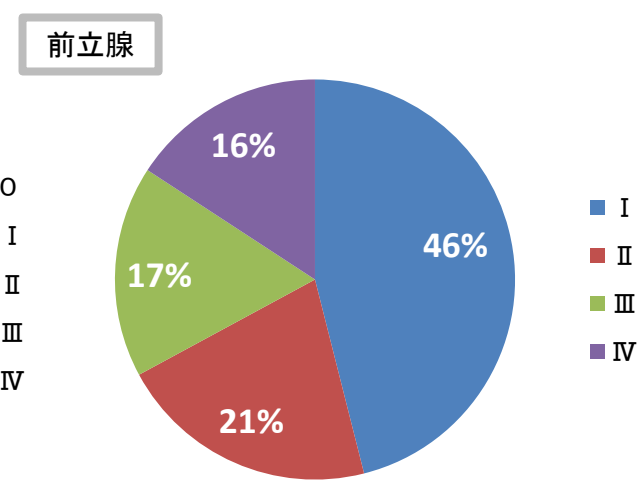
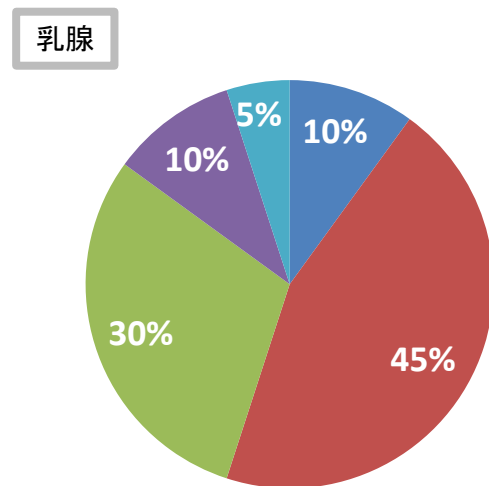
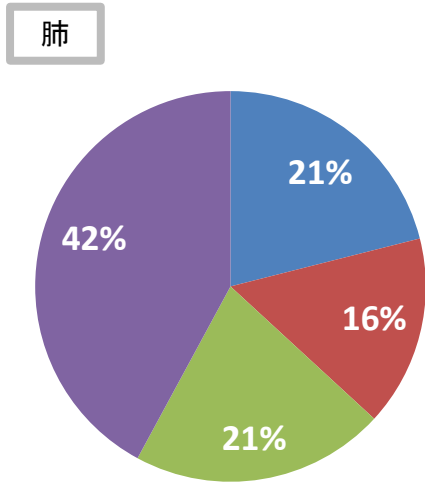
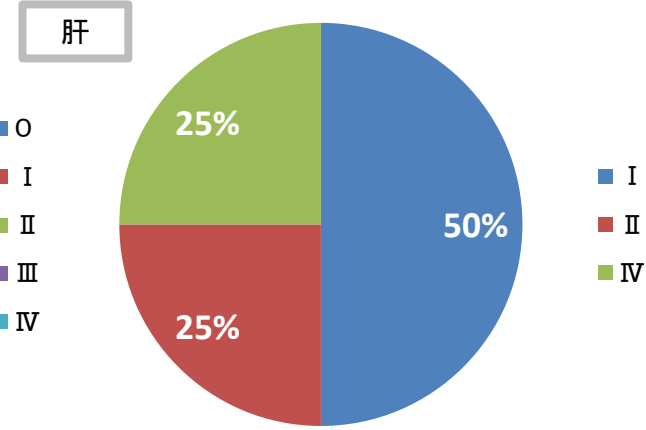
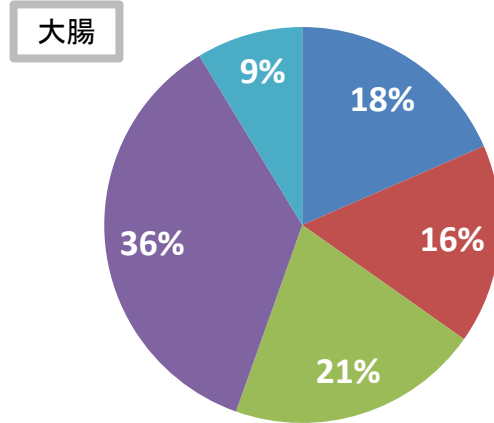
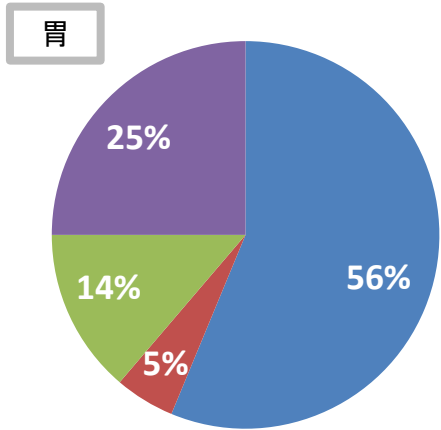
男性は75-79歳、女性は70-74歳が
最も多い年齢階層となっています。

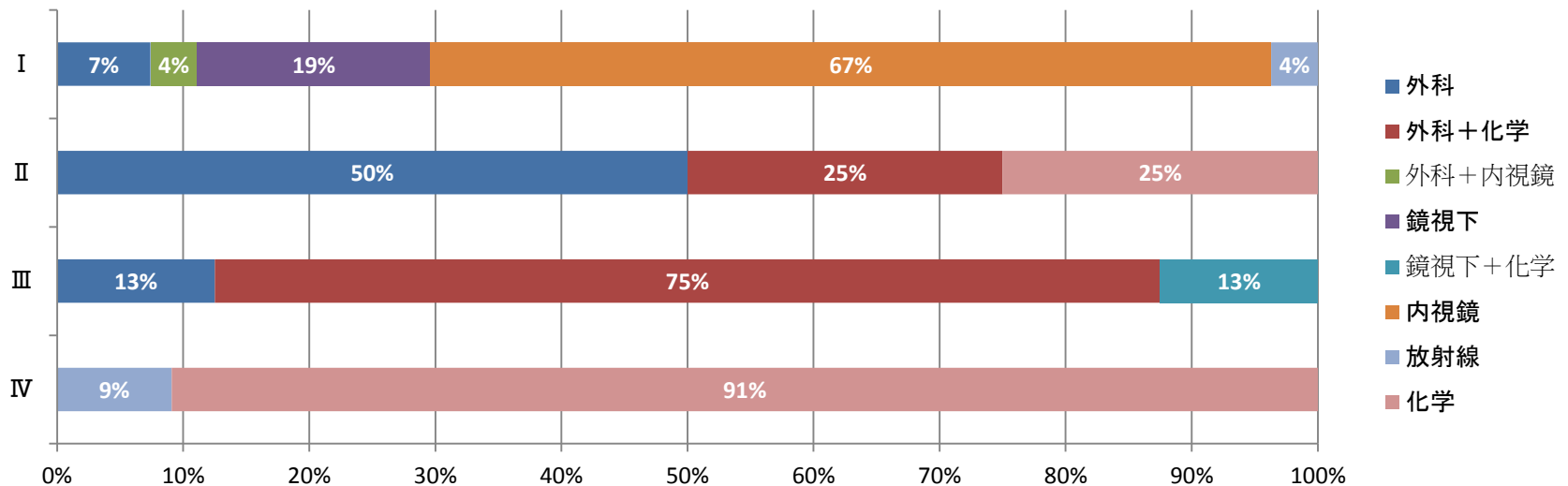
5大がん男女比率 (2019年診断症例)



全体と比較すると、胃がん・肝臓がん・肺がんは男性の割合が多くなっています。

がん登録ステージ別 (2019年診断症例)





治療の種類

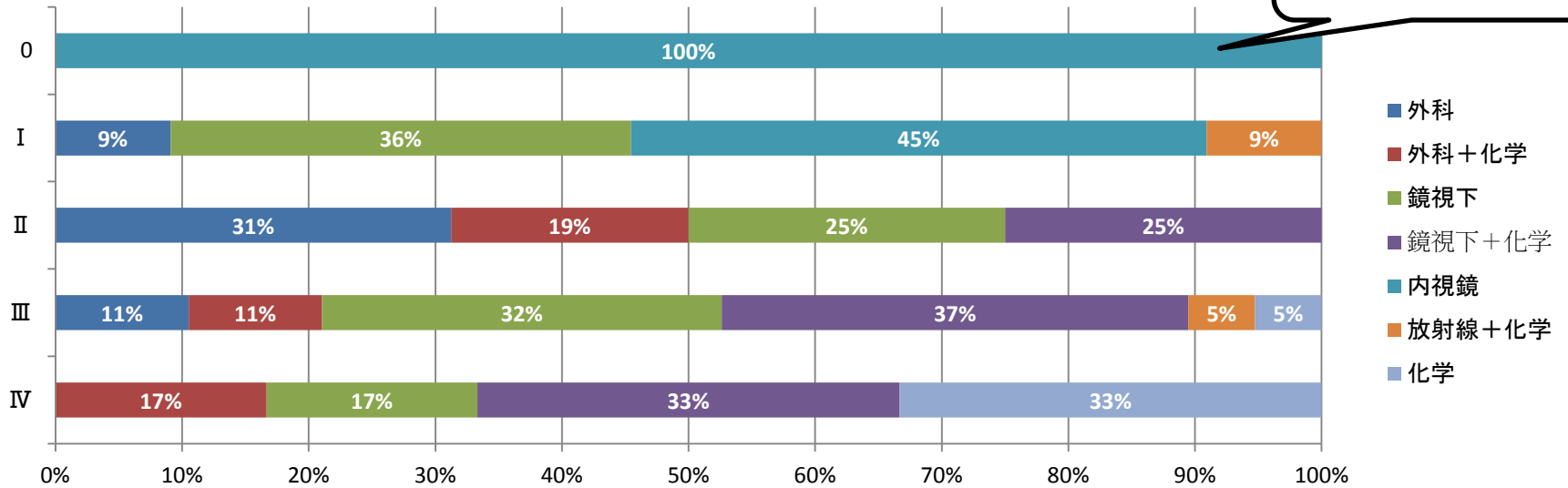
外科	外科的治療(肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術)
鏡視下	鏡視下治療(腹腔鏡／胸腔鏡などを用いた手術)
内視鏡	内視鏡的治療(自然開口部からカメラ等を挿入して、その視野を用いて行われる切除術)
放射線	放射線療法
化学	化学療法(抗がん剤、分子標的薬等)
内分泌	内分泌療法(特定のホルモン分泌を抑制することで腫瘍の増殖を阻止)
その他	血管塞栓術、免疫療法、光線焼灼術等

※自施設で行った初回治療(経過観察を除く)のみを対象とします

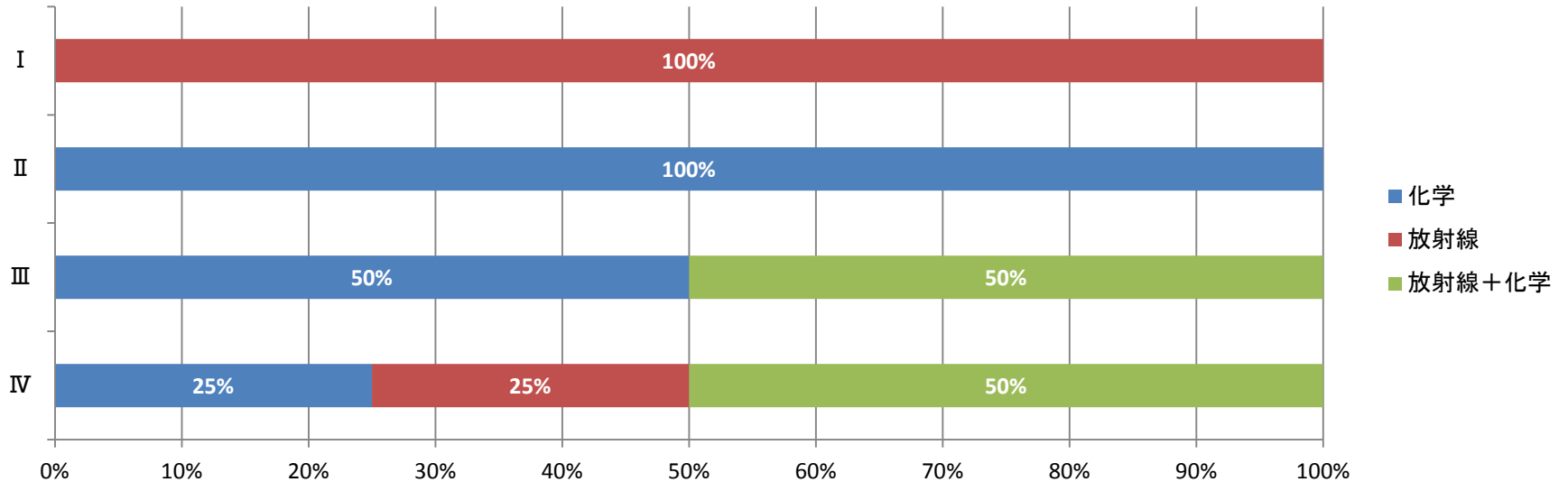
※ステージは術後病理学的病期を優先し、手術なし／術前治療後に手術を行った場合は臨床病期を用いています

ステージ別／治療別：大腸

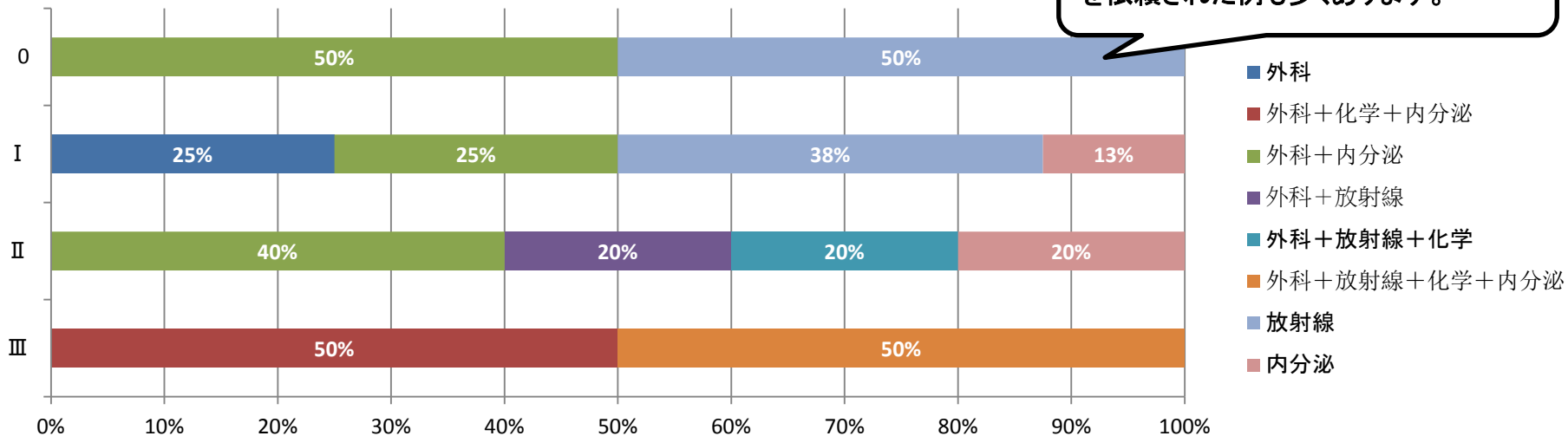
上皮内癌は内視鏡での治療が行われます



ステージ別／治療別：肺



ステージ別／治療別：乳腺



ステージ別／治療別：前立腺

